

事業 番号	事業名	内 容	対象外 項目番号
	下水道事業費用		
1	営業費用事業(管渠費)	管路の維持管理	⑤
2	営業費用事業(管渠費外)	流域下水道維持管理負担金、事業活動の全般に関連する費用の事務	②
3	営業外費用事業	下水道債に対する利子支払い事務、受益者負担金等賦課徴収事務	①
4	特別損失事業	前年度消費税納付事務等の一時的に発生する支払事務	①
5	予備費事業	予備費執行事務	①
	資本的支出		
6	建設改良費事業	公共下水道整備に関わる事務、相模川流域下水道等建設負担金事務	③
7	企業償還金事業	下水道債に対する元金支払い事務	①
	一般会計		
8	河川総務運営事務事業	河川維持管理	-
9	下水道事業会計繰出金事業	下水道事業会計への繰出金支払い事務	①
10	河川災害復旧費事業	河川施設の災害復旧に関わる事務	①

令和4年度事務事業一覧表

事業 番号	事業名	持続可能な開発目標(SDGs)																
		G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	G10	G11	G12	G13	G14	G15	G16	G17
	下水道事業費用																	
1	営業費用事業(管渠費)			○			○			○		○			○	○		
2	営業費用事業(管渠費外)			○			○			○		○			○	○		
3	営業外費用事業			○			○			○		○			○	○		
4	特別損失事業			○			○			○		○			○	○		
5	予備費事業			○			○			○		○			○	○		
	資本の支出																	
6	建設改良費事業			○			○			○		○			○	○		
7	企業償還金事業			○			○			○		○			○	○		
	一般会計																	
8	河川総務運営事務事業			○						○		○						
9	下水道事業会計繰出金事業			○						○		○						
10	河川災害復旧費事業			○						○		○						

予算事業名	河川総務運営事務事業							事業番号	03 - 11 - 08			
細分事業名	-							シート作成日	令和4年8月19日			
予算科目	会計	01	款	08	項	03	目	01	事業	01	事業開始年度	-
											事業終了予定年度	-
部等名				課等名				係名				
都市建設部				下水道課				下水道整備係				

計画 (Plan)	総合計画	P 60	柱	Ⅲ 人と自然が共生する循環のまちづくり							
			部門	5 河川・生活排水							
			大施策	A 河川の整備							
			中施策	(1) 管理河川の整備							
			施策目標	町管理河川の整備を進めます。							
	事業の概要		根拠法令・条例等	河川法・大磯町準用河川に係る管理施設等の構造に関する基準を定める条例							
			個別計画等	-							
			行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	-			実施項目名	-		
			目的 (何のために)	町内河川(町管理の準用河川及び普通河川)の良好な維持管理を行う。							
			対象 (誰を・何を)	町管理の準用河川及び普通河川							
		内容	・河床及び護岸の維持管理業務委託(除草・浚渫) 血洗川 L=1,550m 谷戸川 L=1,060m 嶋立川 L=40m ・河床及び護岸の修繕工事								

実施 (Do)	執行体制		一部委託あり					
	事業費	直接事業費(a)	単位	R01年度(決算)	R02年度(決算)	R03年度(決算見込)	R04年度(予算)	
		財源内訳	千円	13,261	17,742	8,079	15,041	
			国庫支出金	千円				
			県支出金					
			起債					
			その他					
	一般財源	13,261	17,742		8,079	15,041		
	職員人数(概算職員数)	人	0.50	0.60	0.70	0.70		
	人件費計(b)	千円	2,945	3,544	4,131	4,131		
総事業費(a)+(b)	千円	16,206	21,286	12,210	19,172			
事業費内訳(千円) R 04 年度		修繕料3,400千円、手数料100千円、傷害保険料21千円、管理委託料8,000千円、工事請負費3,500千円、修繕用材料費20千円						
本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名			目標値			
		河川水質調査測定値(BOD*)			環境基準値以下			
指標名		単位	項目	R02年度(決算)	R03年度(決算見込)	R04年度(予算)	R07年度(目標)	
対象指標(対象者数等)	委託管理箇所数	箇所	-	4	3	3	3	
活動指標(活動量)	委託管理箇所数	箇所	計画値	4	3	3	3	
			実績値	4	3	-	-	
成果指標(達成度等)	委託の完成率	%	目標値	100	100	100	100	
			実績値	100	100	-	-	
			達成率	100.0%	100.0%	-	-	
定性的成果		-						

評価 (Check)

妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	④ ニーズに応じて実施する事業ではない		
	事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
	今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
	関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
有効性	事業の成果は得られているか	③ 十分な成果が出ている		
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	④ 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している		
公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-③ 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない	
	過去の外部評価等における指摘事項	—		
主な改善経過 (過去4年間)	過年度の経過や実績を踏まえ、当該年度の業務が実態に応じたものとなっているか、よく精査したうえで業務を執行している。			
課題	除草等の簡便な維持管理については沿道住民が自主的に行っていた経緯があるが、ここ数年、住民の高齢化が進み、安全に作業を行えなくなったことから、町による主体的な維持管理を求める要望を受けている。また、ブロック積み等の護岸施設の老朽化が進んでおり、適切な維持修繕を実施する必要がある。			

改善 (Action)

今後の方向性の判断	区分	拡充	R03年度	拡充	R02年度	拡充	R01年度	拡充
	理由	効率的な維持管理を行うことで、適正な河道の確保及び浸水被害を防除し、流域一帯の保全を図る。また、施設の老朽化に伴う改築時期を遅らせライフサイクルコストの低減を図る観点から効果的な修繕を実施していく必要がある。						
課題解決に向けて着手する取組事項	R04年度	除草作業については、毎年、定期的に行うことが重要であり、草木が繁茂し、樹木に成長していくことで、護岸の損傷や河道の閉塞につながることから、適切な時期に刈り取り作業を実施する。						
	R05年度	除草作業については、毎年、定期的に行うことが重要であり、草木が繁茂し、樹木に成長していくことで、護岸の損傷や河道の閉塞につながることから、適切な時期に刈り取り作業を実施する。						
R04年度改善事項	河床浚渫作業については、土砂堆積状況を事前に確認し、堆積が顕著な箇所を優先して浚渫すること等により、事業費の削減を図った。また、谷戸川護岸の樹木について、町職員にて樹木の伐採作業を実施した。							
記入日	令和5年3月20日							